

< 試験概要 >

お客様の被験物質・検体の細胞毒性の有無を検証いたします。予備検討試験にておおよその細胞毒性を検証し、本試験においてIC50値を算出いたします。使用する細胞株は標準的細胞株や株化細胞、初代細胞にて実施することもできますが、別途、お役様のご指定の細胞種、処理期間、生細胞測定法に柔軟に対応させていただきます。

細胞株例

標準的細胞：V79, L929, Balb/3T3

株化細胞：HeLa, HepG2, HT-29, K562, THP-1, SH-SY5Y, PC-12, LNCap, HEK293, C2C12, 3T3-L1, B16, PANC1, J774.1, RAW264, 3T3-E1, 1C3D3など

初代細胞：NHDF, NHEK, HUVEC, HSMMなど

生細胞測定法例：MTT法、WST法、ATP測定など

アポトーシス、ネクローシス、カルセインAM染色による評価など

基本試験内容

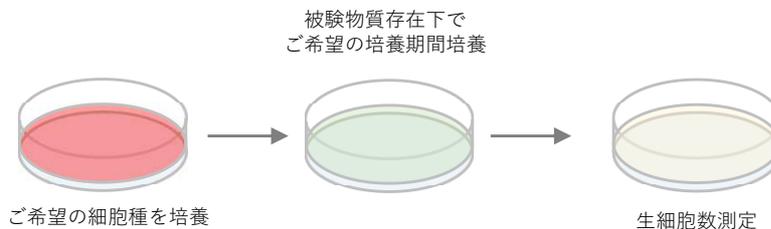
予備検討試験

被験物質 7 段階濃度、N= 3 にて細胞毒性試験を実施します。

本試験

予備検討試験の結果から50%阻害濃度を含む 5 段階濃度、N=3にて細胞毒性試験を実施し IC50 値を算出致します。

試験の流れ



ご注文方法／納期

下記の情報を頂きまして、都度お見積りとさせて頂いております。

- ・被験物質の種数、性質（溶媒や水への溶解性）
- ・細胞種のご指定、培養期間のご指定

納期：試験材料が揃ってから約 1 ヶ月

※本試験は研究用です。研究用以外には使用できません。